

基本目標

計画の進捗を測る基本目標として、以下のK P Iを設定します。

項目	現状値(R1)	目標値(R5)	対現状	考え方
延べ宿泊者数(C=A×B)	865万人泊	895万人泊	+30万人泊	<ul style="list-style-type: none"> ・ R2の延べ宿泊者数は対前年40%減の513万人泊、実宿泊者数についても451万人泊まで落ち込む見込みです。 ・ 計画期間では、実宿泊者数を現状値(R1)と同じ734万人泊を目標とします。 ・ 宿泊者一人あたりの宿泊日数を増やす(2泊以上する人泊数 現状：約240万人泊⇒ 目標：約310万人泊)ことで、延べ宿泊者数(C=A×B)を30万人泊増加させ895万人泊を目標とします。
実宿泊者数(A)	734万人泊	734万人泊	±0万人泊	
宿泊者1人当たりの宿泊日数(B)	1.178泊	1.220泊	+0.042泊	
宿泊者のうち県内居住者の割合	16.4%	20.0%	+3.6%	
延べ外国人宿泊者数	29.2万人泊	30.0万人泊	+0.8万人泊	インバウンド需要のV字回復を目指し、宿泊者数をアップさせます。
観光消費額	2,845億円	3,090億円	+245億円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光消費額は、現状値(R1)から245億円増の3,090億円を目標とします。 <p>例示：観光消費額単価(宿泊客)アップのための方向性 ワンランク上の宿泊価格帯へのシフト(高付加価値化) 宿泊価格20,000円以上の施設への宿泊者数 現状：約80万人泊 ⇒ 目標：160万人泊</p>
観光消費額単価(宿泊客)	25,745円	28,000円	+2,255円	
観光消費額単価(日帰り客)	4,617円	5,000円	+383円	

(出典) ・ 観光消費額に関する項目

観光庁「共通基準による観光入込客統計」「宿泊旅行統計」、
群馬県「観光客数・消費額調査」に基づき算出

・ 宿泊者に関する項目

観光庁「宿泊旅行統計」